

2023年1月16日作成

Ver.3

## 不顕性肝性脳症の診断に関わる、臨床パラメータの探索

### 1、研究の目的と意義

本研究ではChild-Pugh分類Aの肝硬変患者さんを対象とし、さまざまな検査データから、明らかな症状がみられない不顕性肝性脳症を発症している患者さんにどのような特徴があるかを明らかにすることを目的としています。本研究により、不顕性肝性脳症患者さんに特徴的な検査データを認めれば、現状では診断が難しい不顕性肝性脳症の診断が容易となる可能性があります。

### 2、対象となる患者さん

Child-Pugh分類A※の肝硬変と診断された18歳以上の患者さんで、Number connection testとStroop testが実施された患者さん

※Child-Pugh分類：患者さんの肝臓の予備能が正常能に対してどれくらい残っているかという障害度を表す重症度分類です。障害の軽い順にAからB、Cの順で分類されます。

### 3、研究の方法

Child-Pugh分類Aの肝硬変患者を対象に、通常診療において不顕性肝性脳症の診断のために行われるNumber connection test, Stroop testの情報をを用いて不顕性肝性脳症の有無を判定します。また同時期に行った対象患者さんの血液検査データ、画像検査所見のデータを用いて、不顕性肝性脳症の有無で患者さんの検査データにどのような特徴があるか評価を行います。

### 4、研究に用いる情報

患者背景（性別・年齢・身長・体重・肝硬変の原因）、通常診療で施行された、血液検査データ、画像検査データ、上部消化管内視鏡検査データ、Number connection test, Stroop testの結果を用います。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 5、研究期間

研究機関長の許可日～2025年3月31日

### 6、外部への情報の提供

該当なし

### 7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 消化器内科 助教 福島真典

## 8. お問い合わせ先

長崎大学病院 消化器内科 助教 福島真典

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7481 FAX 095（819）7482

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）